

事業実績書

事業名	子育て応援プロジェクト	
場所	沼津市内	
期間	平成31年4月1日 ~ 令和2年2月28日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	4/16	<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>「赤ちゃんクッキング」 開催会場：サンウエルぬまづ調理室 対象者：1歳～3歳のお子様と保護者 参加人数：8組 講師：1名 アシスタント：1名</p>
	4/26	<p>ぴよぴよキャラバン隊同行栄養相談 開催会場：浮島地区センター 対象者：未就園児 栄養士：1名</p>
	5/13	<p>「ママのためのワークショップ」 開催会場：サンウエルぬまづ調理室・中会議室 対象者：1歳半～3歳のお子様と保護者 参加人数：8組 講師：1名 アシスタント：1名 託児スタッフ：4名</p>
	5/16	<p>ぴよぴよキャラバン隊同行栄養相談 開催会場：第三地区センター 対象者：未就園児 栄養士：1名</p>
	5/27	<p>スタッフミーティング 開催会場：食育スタジオ Dreamy スタッフ：8名</p>
	5/28	<p>ぴよぴよキャラバン隊同行栄養相談 開催会場：内浦地区センター 対象者：未就園児 栄養士：1名</p>
	6/3	<p>「ママのためのワークショップ」 開催会場：サンウエルぬまづ調理室・中会議室 対象者：未就園児とその保護者 参加人数：14組 講師：コーチング1名クッキング1名 アシスタント：1名 託児スタッフ：7名</p>
	6/6	<p>ぴよぴよキャラバン隊同行栄養相談 開催会場：大岡地区センター 対象者：未就園児 栄養士：1名</p>

<p>事業効果</p>	<p>※ 事業の効果を記載してください。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。</p> <p>ワークショップの開催や赤ちゃんの駅のオープンにより、これまでの事業で繋がった親子に対し、子育て応援を継続することができた。</p> <p>親子で参加できる講座を数多く開催することで、参加同士の交流が広がり、子育ての悩みを解決したり、楽しみの時間をつくることができた。</p> <p>ワークショップでは、保護者が子育ての役に立つ内容で開催し、託児を設けたことで子どもと離れ学ぶ時間を持つことができ満足度の高い講座となった。</p> <p>HPからの集客でリピーターの親子だけでなく、新規の参加者が増えた。</p> <p>地区センターでの栄養相談では、日頃食の悩みを抱えている保護者に対し、離乳食や幼児食のアドバイスをすることにより、保護者の不安や悩みを解決するとともにワークショップやスタジオレッスンに誘導することができた。</p> <p>すべての事業において、スタッフ全員が利用者の気持ちに寄り添い、丁寧に個々への対応をしていくことで、クオリティーの高い子育てサービスを提供することができ、満足度の高い事業内容となった。</p> <p>HPからの周知のみで、毎回定員を越す参加希望者が集まり、沼津市において子育て支援事業が必要とされていることを感じた。</p> <p>スタジオを移設したことで、親子で居心地のよい場所を提供することができ、利用者同士の交流の場となった。</p> <p>カフェのオープンによりランチやスイーツ、ドリンクを提供し、ワークショップの終了後の時間もスタジオ内や赤ちゃんの駅を利用してもらうことができ、親子でゆっくり過ごせる市民の交流の場所となった。</p>
<p>今後の活動予定</p>	<p>2020年度は「食農プロジェクト」を開催し、これまで関わってきた年齢層から更に上の子どもと保護者に対し、スタジオから敷地続きの畑で沼津市で収穫できる野菜を育て、地産地消や「食」の大切さを伝えていきたい。</p> <p>移設したスタジオを活用し、スタジオレッスンやワークショップを引き続き開催し、今後も子育て世代の継続的な支援と、子育ての中での楽しい時間を提供し、沼津市での子育てがより充実したものになる様、利用者の気持ちに寄り添ったサービスを提供していきたい。</p>
<p>自己評価</p>	<p>今年度スタジオを移設し、「あかちゃんの駅」を新設したことにより、ワークショップ開催のために会場予約の必要がなくなり会場費用もかからなくなったため、昨年度に比べ非常に開催がしやすくなった。</p> <p>アットホームなスタジオで事業開催をすることで、利用者はリラックスして参加することができ、また安心して親子で参加していただくことができた。</p> <p>子育て中の保護者が魅力を感じる内容で事業を開催することで、毎回HPからの集客ができ、新規の参加者やリピーターの利用者も増えた。</p> <p>託児つきの事業はニーズが高く、忙しい子育ての中で、子どもと離れ保護者が学ぶ時間やリフレッシュできる時間を提供する必要性を感じた。</p> <p>ワークショップのアシスタントや、3年間託児に従事してきたスタッフも事業に慣れ、講師とともに子育て中の保護者に対し、適切なアドバイスや支援を継続的にすることができた。</p> <p>2019年度ニーズの高かった「産後ケア事業」が市の委託事業となり委託契約をすることができた。</p>